

研究課題名：

閉鎖孔ヘルニア嵌頓に対する超音波ガイド下整復の有用性の検討

研究概要：

閉鎖孔ヘルニア嵌頓は腸閉塞を引き起こす比較的稀な骨盤内ヘルニアであり、緊急手術が施行されることが多かった。近年、超音波ガイド下による徒手の整復を行い待機的手術とする報告が増え、当院では2016年より導入した。当院での過去10年間の閉鎖孔ヘルニア症例に対し、この治療戦略の有効性について検討する。

本研究は非侵襲型観察研究であり（患者への新たな負担なし）、後ろ向き研究である。

研究機関・研究者：

水戸済生会総合病院 外科 鈴木 貴友（部長）

水戸済生会総合病院 外科 丸山 常彦（主任部長）

研究対象：

水戸済生会総合病院にて2013年5月1日から2023年5月1日までの間において、閉鎖孔ヘルニアの診断で入院加療を要した患者様

研究方法(研究デザイン)：

カルテ情報による後ろ向きコホート研究

研究方法(使用する情報)：

年齢・性別・身長・体重・既往歴・手術記録

対象患者の個人情報保護について：

研究対象検体はすべて匿名化されて研究に用いる。研究成果を専門学会・専門誌に発表する場合は、患者の個人情報は完全に保護される。

本研究への問い合わせ先：

水戸済生会総合病院・外科・部長 鈴木 貴友